

Press Release

2019年6月10日
株式会社フェニクシー

インパクト投資促進で社会起業家を支援する株式会社フェニクシー 京都からユニコーン・ベンチャー創出をめざすインキュベーション施設を開設 ～大企業発ベンチャー育成プログラムがスタート～

株式会社フェニクシー（本社：京都市中京区、社長：橋寺由紀子、以下フェニクシー）は、京都市左京区にレジデンス付異業種連携インキュベータ施設「toberu」（以下 toberu）を6月に開設しました。toberuの開設に伴い6月3日より4ヶ月間の第1期インキュベーションプログラムを開始し、ハードとソフト両面から大企業発ベンチャーの創出を支えてまいります。

toberuは、京都市左京区に6月3日に開設した、鉄骨造3階建て558.2平方メートルの施設です。自らの事業アイデアの実現を目指し公募で選抜された参加メンバー（以下 フェロー）が飛び石を飛び超えていく姿をイメージして toberu と名付けました。施設では知や学への多様なアクセス、異業種の仲間との時間と空間の共有、起業成功者やメンターによる専門的なサポート、投資家とのネットワークなど、スタートアップの支援に必要なシステムを横断的に提供します。フェローのビジネスアイデアの実現を通じて、組織の活性化や社会貢献に繋がる支援を継続的に行います。

出発の地に選んだ京都は、歴史を未来へ繋ぐ老舗企業と革新的な発想を生み出す新興企業が共存し、日本の知と学が集うまちです。古都であり、起業の都であり、グローバル都市でもある多面性が京都には存在します。社会的課題の解決に対峙し世界に通用するイノベーションの実現を目指すフェローが、同じ志を持つ仲間と居を共にし、互いに刺激を受けながらチャレンジをする「競争」と「共創」の過程に、京都の多面性が相乗効果を生み出し、京都の街全体が緩やかな連携の中で起業家や新規事業を育む場、エコシステムとなることに期待しています。

フェニクシーは toberu の開設に伴い6月3日から10月4日までの4ヶ月の第1期インキュベーションプログラムを開始しました。近年、米国を中心にイノベーションを活用して社会課題を解決するユニコーン・ベンチャーが大きな実績を残す中、スタートアップ流のビジネスや起業そのものに大きな注目が集まっています。日本はこれまで欧米に比べて起業への関心が低く、起業率は5%前後と欧米の約半分以下の水準です。そこで、すでに社会的な責任を担い、かつ日本の優秀な人材の多くが所属する大企業の社内起業に着目しました。大企業から社会的課題の解決を志す有望な人材を受け入れ、社内とは切り離れた環境の下、将来の事業の柱となるような事業開発に挑戦できるエコシステムを提供していきます。本プログラムによって、組織に所属する優秀な人材が、日本のみならずグローバルな社会課題を解決してくれると信じています。

21 世紀に入り、環境問題、気候変動に伴う災害、地域格差などの問題が世界中で噴出する一方で、国連が「持続可能な開発目標（SDGs）」を定めるなど、国際的にも社会課題解決は重要なテーマとなっています。フェニクシーはインキュベータ事業やインパクトファンドの運営を通じて、ESG 投資促進、SDGs への直接的貢献、社会派ユニコーンの創出をめざしてまいります。

【インキュベーションプログラム参加企業】

味の素株式会社、オムロン株式会社、カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社、ダイキン工業株式会社、東京海上ホールディングス株式会社、NISSHA 株式会社、富士フイルム株式会社、株式会社三菱ケミカルホールディングス

【第 1 期プログラム参加メンバー】

吉村 祐一 NISSHA 株式会社	プラスチックゴミ削減のためのデポジットシステム事業化
小泉 美子 ダイキン工業株式会社	再生医療用の細胞培養容器
川谷 篤史 東京海上ホールディングス株式会社	高齢者が安心して暮らすための支援事業
猪股 壮太郎 富士フイルム株式会社	高耐久性包装材のリユースシステムによる海洋ごみの削減
土井 秀高 味の素株式会社	海藻食品素材化プロセッシング事業
唐子 征久 オムロン株式会社	遠隔操作ロボットのマッチングシステム
藤井 芳郎 NISSHA 株式会社	エネルギーハーベスティング型センサーによる自然災害被害の低減
凌霄 富士フイルム株式会社	生命科学研究効率化のための実験支援デバイスの事業化
田山 恭平 三菱ケミカル株式会社	養殖業生産者のための産業基盤づくり

【インキュベータ施設 toberu について】

施設名称 toberu
 所在地 〒606-8303 京都市左京区吉田橋町 32
 建物 鉄骨造り 3 階建て
 延べ床面積 558.20m²
 フェロー用個室 10 室、ゲストルーム 2 室
 キッチン、食堂、ライブラリー、ミーティングルーム
 設計 一級建築士事務所 大西麻貴 + 百田有希/o+h

施設写真



【株式会社フェニクシーについて】

- 名称 : 株式会社フェニクシー (Phoenixi. Co., Ltd.)
- 代表者 : 代表取締役社長 橋寺 由紀子
- 所在地 : 京都市中京区河原町通二条下る二丁目下丸屋町 403 番地
- 設立 : 2018 年 3 月
- 事業内容 : 新規事業創出のための支援
 起業または創業のためのコンサルティング
 レジデンス付きインキュベータの運営
 インパクトファンドの運営
- 資本金 : 1980 万円 (資本準備金を含む)
- ミッション : 個人・組織・社会の持つあらゆる創造性が結集するリスクに寛容な場を提供し、
 社会起業とインパクト投資の促進を通じてより良い社会の構築を目指す
- URL : <http://www.phoenixi.co.jp>

【創業メンバーについて】

株式会社フェニクシー 代表取締役社長 橋寺 由紀子 (はしてら ゆきこ)

1989年神戸女子薬科大学卒業後、上野製薬株式会社医薬品事業部へ入社し、14年間にわたり緑内障治療薬、慢性特発性便秘症治療薬の研究開発に携わる。2001年同社の医薬品事業部のスピンアウトに伴い株式会社アールテック・ウエノへ転籍、同時にマネージメントチームの一員となる。2006年同社代表取締役社長に就任し、2008年4月の大阪ヘラクレス市場（現ジャスダック市場）への上場では中心的役割を果たした。同社退職後、2012年京都大学大学院医学研究科を修了。2013年京都大学経営管理大学院を修了。

2018年3月株式会社フェニクシーを起業し、同社の代表取締役に就任。

株式会社フェニクシー 取締役 久能 祐子 (くのう さちこ)

科学者になることを目指し、京都大学工学部に進学、ミュンヘン工科大学への留学を経て、1983年京都大学大学院工学研究科で博士号を取得。

1989年、科学者から転身して株式会社アールテック・ウエノを共同創業し、1994年に初めてのプロトン系緑内障治療薬となる「レスキュア点眼液」の商品化に成功。1996年米国に拠点を移し、スキャンボ・ファーマシューティカルズ社を共同創業し初代 CEO となる。同社でも慢性特発性便秘症および過敏性腸症候群治療薬「アミティーザ」の商品化に成功。2012年に革新的ワクチン開発を目指す VLP セラピューティクスを共同創業した。

社会起業家としては、S&R 財団を設立し理事長兼 CEO を務めるほか、ジョンズホプキンス大学、マンフィールド財団などの理事でもある。2014年に社会起業家を育成するハルシオン・インキュベータをワシントン DC に設立した。

これまで多数の賞を受賞し、2017年には、「エイボン女性年度賞 2016 大賞」および「Harvard Business School club of Japan Business Stateswoman of the Year for 2016」を受賞。Forbes 誌の「アメリカで自力で成功を収めた女性 50 人」にも選出（2015年）されている。

株式会社フェニクシー 取締役 小林 いずみ (こばやし いずみ)

1981年成蹊大学文学部卒業後、三菱化成工業（現三菱ケミカル）入社。1985年にメリルリンチ日本法人に転じ、2001～2008年の間、女性として初めてメリルリンチ日本証券株式会社の代表取締役社長を務め、2005年には米紙ウォール・ストリート・ジャーナル「注目すべき女性 50 人」に選ばれる。2008～2013年には多数国間投資保証機関（MIGA）長官を務める。2013年より ANA ホールディング株式会社社外取締役、2014年より三井物産株式会社社外取締役、2015年より経済同友会副代表幹事、2016年より日本放送協会経営委員、2017年よりみずほフィナンシャルグループ取締役を兼務。

株式会社フェニクシー 創業メンバー 鎌田 富久 (かまだ とみひさ)

東京大学大学院理学系研究科情報科学博士課程修了。理学博士。

東京大学在学中の 1984年にソフトウェアのベンチャー企業 ACCESS 社を荒川亨氏とともに設立。組み込み向け TCP/IP 通信ソフトや、世界初の携帯電話向けウェブブラウザなどを開発。携帯電話向けのコンパクトな HTML 仕様「Compact HTML」を W3C(World Wide Web Consortium)に提案するなど、モバイル

インターネットの技術革新を牽引した。2001 年に東証マザーズに上場し、グローバルに事業を展開。2011 年に退任。その後、スタートアップを支援する TomyK(<http://tomyk.jp>)を設立し、ロボットベンチャー SCHAFT(米 Google が買収)の起業を支援するなど、ロボット、AI、IoT (Internet of Things)、人間拡張、宇宙、ゲノム、医療などのテクノロジー・スタートアップを多数立ち上げ中。著書『テクノロジー・スタートアップが未来を創る-テック起業家をめざせ』(東京大学出版会)にて、起業マインドを説く。

株式会社フェニクシー 創業メンバー 松本 大 (まつもと おおき)

1963 年埼玉県生まれ。1987 年東京大学法学部卒業後、ソロモン・ブラザーズを経て、ゴールドマン・サックスに勤務。1994 年、30 歳で当時同社最年少ゼネラル・パートナー (共同経営者) に就任。1999 年、ソニー株式会社との共同出資でマネックス証券株式会社を設立。2004 年にはマネックスグループ株式会社を設立し、以来 CEO を務める。マネックスグループは、個人向けを中心とするオンライン証券子会社であるマネックス証券 (日本)、TradeStation 証券 (米国)・マネックス BOOM 証券 (香港) など有するグローバルなオンライン金融グループである。株式会社東京証券取引所の社外取締役を 2008 年から 2013 年まで務めたほか、数社の上場企業の社外取締役を歴任。現在、米マスターカード、株式会社ユーザベースの社外取締役も務める。

株式会社フェニクシーアドバイザリーボードのご紹介

人的協力、情報提供、ネットワーク紹介など、フェニクシーインキュベータとジャパンインパクトファンドの効率的かつ効果的な運営について助言をいただく委員会としてアドバイザリーボードを設置しています。

アドバイザリーボードメンバー：

- 大田 弘子 政策研究大学院大学特別教授
- 越智 仁 株式会社三菱ケミカルホールディングス代表執行役社長
- 川本 裕子 早稲田大学大学院経営管理研究科教授
- 国谷 史朗 大江橋法律事務所代表パートナー
- 佐々江 賢一郎 公益財団法人日本国際問題研究所理事長兼所長
- 高島 宏平 オイシックス・ラ・大地株式会社代表取締役社長
- 仲 暁子 ウォンテッドリー株式会社代表取締役 CEO
- 堀場 厚 株式会社堀場製作所代表取締役会長兼グループ CEO
- 御立 尚資 ポストン・コンサルティング・グループシニアアドバイザー
- 山極 壽一 京都大学総長

ボードメンバーの経歴の詳細については弊社 Website をご確認ください。

【本件に関する報道関係お問い合わせ先】

藤井、小笠原、横田 (株式会社井之上パブリックリレーションズ内)

TEL : 03-5269-2301 FAX:03-5269-2305

E-mail: phoenixi@inoue-pr.com